

BEST AVAILABLE COPY

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-267839

(43)Date of publication of application : 29.09.2000

(51)Int.Cl.

G06F 9/06

(21)Application number : 11-076471

(71)Applicant : SHIZUOKA NIPPON DENKI SOFTWARE KK

(22)Date of filing : 19.03.1999

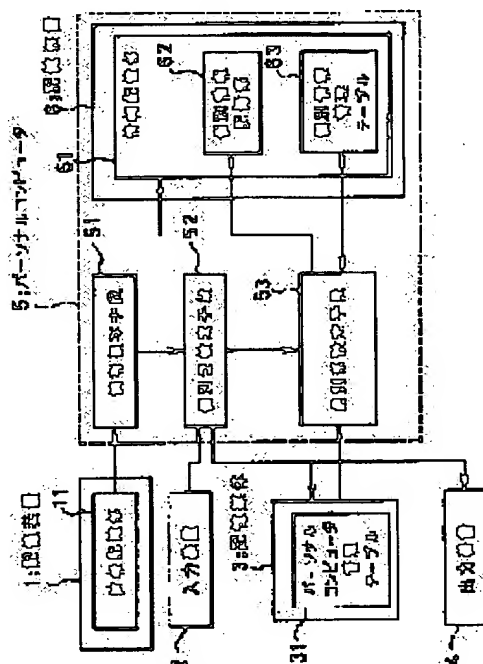
(72)Inventor : IWATANI MASAMUNE

## (54) METHOD AND SYSTEM FOR INSTALLATION FOR COMPUTER

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To obtain a method and a system which automate the setting of individual information to a computer and improve work efficiency.

**SOLUTION:** This system preliminarily prepares respective individual information of plural computers, stores and holds it in a table 31, is provided with a means 51 which copies software of an installation object from a means 11 storing the software of an installation object to a recording means 61 inside a computer for the selected computer, retrieves and extracts individual information corresponding to the computer from the table 31 in setting the individual information to the computer and sets the individual information of the computer to a prescribed place of a storage part 62 in the computer based on a storage means (63) managing the storing place for the individual information.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 19.03.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 10.10.2000

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

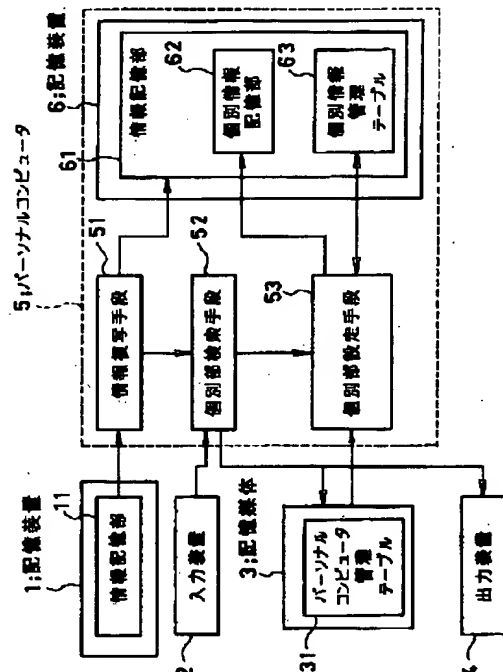
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(11)特許出願公開番号  
特開2000-267839  
(P2000-267839A)



## 【 特許請求の範囲】

【請求項1】複数のコンピュータのそれぞれの個別情報を予め作成してテーブルに記憶保持し、前記複数のコンピュータのうちから選択されたコンピュータに対して、インストール対象のソフトウェアを記憶する手段から、前記コンピュータ内部の記録手段へ前記インストール対象のソフトウェアを複写した後、前記コンピュータに対して個別情報を設定するにあたり、前記テーブルから前記コンピュータに該当する個別情報を検索して前記コンピュータの個別情報を抽出し、前記個別情報を、前記コンピュータ内部の記憶手段の所定箇所に設定する、

ことを特徴とするコンピュータのインストール方法。

【請求項2】複数のコンピュータのそれぞれの個別情報を予め作成してテーブルに記憶保持し、前記複数のコンピュータのうちから選択されたコンピュータに対して、インストール対象のソフトウェアを記憶する手段から、前記コンピュータ内部の記録手段へ前記インストール対象のソフトウェアを複写した後、前記コンピュータに対して個別情報を設定するにあたり、前記テーブルから前記コンピュータに該当する個別情報を検索して前記コンピュータの個別情報を抽出し、前記個別情報を基に、前記個別情報をどこに設定するかを示す位置情報を記憶した記憶手段を参照して、前記個別情報を、前記コンピュータ内部の記憶手段の所定箇所に設定する、ことを特徴とするコンピュータのインストール方法。

【請求項3】複数のコンピュータのそれぞれの個別情報を予め作成してテーブルに記憶保持し、前記テーブルには、コンピュータ毎に、個別情報が設定済みか否かを管理するためのフラグ情報をさらに設け、インストール対象のソフトウェアを記憶する手段から、前記複数のコンピュータ内部の記録手段へ前記インストール対象のソフトウェアを複写した後、前記テーブルに登録されているコンピュータについて、前記フラグ情報を参照して、個別情報が設定済みでないコンピュータを検索し、前記検索されたコンピュータに対して個別情報を設定するにあたり、前記テーブルのフラグ情報を個別情報設定済みにセットするとともに、前記テーブルから前記コンピュータに該当する個別情報を検索して、前記コンピュータの個別情報を抽出し、前記個別情報を基に、前記個別情報をどこに設定するかを示す情報を記憶した記憶手段を参照して、前記個別情報を、前記コンピュータ内部の記憶手段の所定箇所に設定する、ことを特徴とするコンピュータのインストール方法。

【請求項4】複数のコンピュータのそれぞれの個別情報を表計算ソフトウェアで作成して前記テーブルに記憶保持する、ことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか一

に記載のコンピュータのインストール方法。

【請求項5】複数のコンピュータのそれぞれの個別情報を記憶保持する第1の記憶手段と、インストール対象ソフトウェアを格納する第2の記憶手段と、

入力手段と、

前記入力手段を介して選択されたコンピュータに対して、前記第2の記憶手段から前記コンピュータ内部の記録手段へインストール対象のソフトウェアを複写する手段と、

前記コンピュータに対して個別情報を設定するにあたり、前記第1の記憶手段から前記コンピュータに該当する個別情報を検索して前記コンピュータの個別情報を抽出する手段と、

前記抽出された個別情報を基に、前記個別情報をどこに設定するかを示す情報を記憶した記憶手段を参照して、前記個別情報を、前記コンピュータ内部の記憶手段の所定箇所に設定する手段と、

を備えたことを特徴とする情報処理システム。

【請求項6】複数のコンピュータのそれぞれの個別情報を記憶保持する第1の記憶手段を備え、

前記第1の記憶手段には、コンピュータ毎に、個別情報が設定済みか否かを管理するためのフラグ情報をさらに備え、

インストール対象ソフトウェアを格納する第2の記憶手段と、

前記第1の記憶手段に登録された複数のコンピュータに対して、前記第2の記憶手段から前記複数のコンピュータ内部の記録手段へそれぞれインストール対象のソフトウェアを複写する手段と、

を備え、

前記第2の記憶手段に登録されているコンピュータについて、前記フラグ情報を参照して、個別情報の設定が完了済みでないコンピュータを検索し、前記検索されたコンピュータに対して個別情報を設定するにあたり、前記テーブルのフラグ情報を個別情報設定済みにセットするとともに、前記コンピュータに該当する個別情報を検索して、前記コンピュータの個別情報を抽出する手段と、前記抽出された個別情報を基に、前記個別情報をどこに設定するかを示す情報を記憶した記憶手段を参照して、前記個別情報を、前記コンピュータ内部の記憶手段の所定箇所に設定する手段と、

を備えたことを特徴とする情報処理システム。

【請求項7】前記第1の記憶手段には、前記個別情報として、ネットワーク接続するコンピュータのホスト名が、ネットワークアドレス情報、ユーザアカウント情報、パスワード情報及びその他の所要情報とともに格納されていることを特徴とする請求項5又は6記載の情報処理システム。

【 発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、情報処理システムに関し、特に、コンピュータへのソフトウェアインストール時の環境設定方法及びシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】パーソナルコンピュータ等コンピュータシステムにおけるソフトウェアのインストールは、台数が少ない場合には、通常人手作業で行なわれることが多い。すなわち、インストール対象のオペレーティングシステムやアプリケーションプログラムのインストール媒体を用意し、これらのインストールプログラムを1つずつ起動させてインストールしている。

【0003】しかし、このようなインストール方法では、インストール作業時間及び作業工数を要し、多数のパーソナルコンピュータに対してインストールを行なう場合には、予めオペレーティングシステムやアプリケーションプログラムをインストールしたディスク媒体を用意しておき、このディスク媒体から他のパーソナルコンピュータのディスク媒体へ媒体間のコピーを行なう方法が用いられている。

【0004】例えば特開平4-305737号公報には、ハードディスク装置を内蔵した複数のコンピュータシステムに対するプログラムのインストール方法において、余計なバックアップをとる必要がなく且つ多くの時間を要することなく、複数のパソコンなどに対してプログラムをインストールする方法として、各コンピュータシステムに、ハードディスク装置の入出力のためのインタフェースを2つ設け、2つのインタフェースを介してコンピュータシステムを順次接続し、1つのコンピュータシステムのハードディスク装置にプログラムをインストールした後、そのコンピュータシステムから他のコンピュータシステムのハードディスク装置に対してプログラムを転送することで、次々とインストールを行なう方法が提案されている。

【0005】また自動インストールシステムとして、例えば特開平8-87460号公報には、基本ソフトとアプリケーションをサーバ装置から自動インストールするインストールシステムとして、パソコン本体がインストールサーバに接続した後、バーコード読み取り装置によりパソコン本体の識別番号情報を読み取り、この識別番号情報をキーとしてインストールサーバから識別番号情報のインストール情報を読み込み、このインストール情報を基に、インストールサーバの記憶装置に対応ソフトウェアを読みこき、基本ソフトと環境設定情報を読み込んで基本ソフトのインストール処理を行なうシステムが提案されている。

【0006】さらに個別情報設定に関連する刊行物として、例えば特開平4-362762号公報には、オペレータの要求する端末装置使用環境を記憶する環境記憶手段を備え、いずれかの端末装置をオペレータが使用する

場合、オペレータ認識手段がオペレータを認識し、該当する端末装置使用環境を設定することで、オペレータはシステムを構成するいずれの端末装置を使用する場合にもオペレータに固有の最適な使用環境に設定できるようにした情報処理システムが提案されている。

## 【0007】

【発明が解決しようとする課題】上記した従来のインストール方法においては、パーソナルコンピュータの個別情報の設定を人手作業で行なわなければならない、作業工数、人為エラーによる誤設定の発生等の問題がある。

【0008】近時、ネットワーク技術の進展及び普及に伴い、パーソナルコンピュータは、通常、LAN（ローカルエリアネットワーク）に接続されて使用され、LANに接続するための種々の個別情報等の環境設定を変更する必要があり、これらの設定変更を人手作業で行なう場合、作業労力と時間を要し、設定に誤りが生じる可能性もあるためである。

【0009】また上記特開平8-87460号公報に記載されるインストールシステムは、基本ソフトをパソコン毎その識別番号情報によるインストール情報を基にパソコン毎個別にインストールするものであり、複数のパソコンに対して一律に同一ソフトをインストールし個別情報を設定するというインストール手順には、システム構成も冗長であり、好適なシステムとはいえない。

【0010】したがって、本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであって、その目的は、コンピュータへの個別情報の設定を自動化し、作業効率を向上する方法及びシステムを提供することにある。

## 【0011】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成する本発明は、複数のコンピュータのそれぞれの個別情報を予め作成してテーブルに記憶保持し、前記複数のコンピュータのうちから選択されたコンピュータに対して、インストール対象のソフトウェアを記憶する手段から、前記コンピュータ内部の記録手段へ前記インストール対象のソフトウェアを複写し、前記コンピュータに対して個別情報を設定するにあたり、前記テーブルから前記コンピュータに該当する個別情報を検索して、前記コンピュータの個別情報を抽出し、前記個別情報を、前記コンピュータ内部の記憶装置に所定箇所に設定する。本発明においては、抽出された前記個別情報に基づき、前記個別情報を設定する位置情報を記憶した記憶手段を参照して、前記個別設定情報を、前記コンピュータ内部の記憶手段の所定箇所に設定する。

【0012】本発明においては、前記テーブルには、コンピュータ毎に、個別情報の設定処理が完了したか否かを管理するためのフラグ情報をさらに設け、インストール対象のソフトウェアを記憶する手段から、複数のコンピュータ内部の記録手段へ前記インストール対象のソフトウェアを複写した後、前記テーブルに登録されている

コンピュータについて、前記フラグ情報を参照して、個別情報の設定が完了済みでないコンピュータを検索し、前記検索されたコンピュータに対して個別情報を設定するにあたり、前記テーブルのフラグ情報を個別情報設定済みにセットするとともに、前記コンピュータに該当する個別情報を検索して、前記コンピュータの個別情報を抽出し、前記個別情報を基に、前記個別情報を設定する位置情報を記憶した記憶手段を参照して、前記個別情報を、前記コンピュータ内部の記憶手段の所定箇所に設定するように構成してもよい。

#### 【0013】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態について説明する。本発明は、その好ましい実施の形態において、コンピュータの個別環境を設定する場合に、例えば表計算ソフトウェア等で予め作成されテーブル形式で記憶保持されるコンピュータの個別情を検索し、その中から当該コンピュータの個別情報を抽出し、この情報を基に、コンピュータの個別設定情報を、パーソナルコンピュータ内部の記憶装置に所定箇所に設定するものである。

【0014】本発明の好ましい実施の形態について、図1を参照して説明すると、記憶装置(1)の情報記憶部(11)は、パーソナルコンピュータへインストールするソフトウェアを記憶している。情報複写手段(51)は、情報記憶部(11)の内容を、パーソナルコンピュータ(5)の記憶装置(6)の情報記憶部(61)に複写する。

【0015】記憶媒体(3)に記憶保持されているパーソナルコンピュータ管理テーブル(31)には、複数のパーソナルコンピュータについて各パーソナルコンピュータの個別情報がパーソナルコンピュータのホスト名(ネットワーク上でコンピュータを識別するための名前)とともに記憶されている。

【0016】パーソナルコンピュータ(S)の個別部検索手段(52)は、入力装置(2)からパーソナルコンピュータのホスト名を受け取り、パーソナルコンピュータ管理テーブル(31)から、入力されたホスト名をキーとして検索し、該ホスト名のパーソナルコンピュータの個別情報が登録されている場合には、パーソナルコンピュータ管理テーブル(31)より当該個別情報を読みとり、個別情報の格納位置情報を記憶した個別部情報管理テーブル(63)を参照して、個別情報記憶部(62)の所定箇所に設定する。なお、ホスト名として記録されていない場合は、出力装置(4)にエラーメッセージを表示する。

【0017】また本発明の別の実施の形態として、図5を参照すると、パーソナルコンピュータ管理テーブル(31')には、コンピュータ毎に、個別情報の設定処理を実施したか否かを管理するためのフラグ情報を備え、複数のコンピュータ内部の情報記憶部(61)へインストール対象のソフトウェアを複写した後、パーソナ

ルコンピュータ管理テーブル(31')に登録されているホスト名(コンピュータ)について、前記フラグ情報を参照して、個別情報の設定が完了済みでないコンピュータを検索し、前記検索されたコンピュータへ個別情報を設定するにあたり、パーソナルコンピュータ管理テーブル(31')のフラグ情報を設定済みにセットするとともに、前記コンピュータの個別情報を抽出し、前記個別情報を基に個別情報の格納位置情報を記憶した個別部情報管理テーブル(63)を参照して、前記個別情報を、個別情報記憶部(62)の所定箇所に設定するように構成してもよい。

【0018】本発明の実施の形態によれば、複数のパーソナルコンピュータに対して個別情報を自動で設定することができる。

【0019】なお、記憶装置(1)は、パーソナルコンピュータ(5)とLAN等でネットワーク接続されるサーバ装置側に備えてもよく、また記憶媒体(3)もサーバ装置側に備え、パーソナルコンピュータにネットワークを介して送信する構成としてもよい。

#### 【0020】

【実施例】本発明の実施例について図面を参照して説明する。図1は、本発明の第1の実施例の構成を示す図である。図1を参照すると、記憶装置1と、キーボード等の入力装置2と、記憶媒体3と、ディスプレイ等の出力装置4と、パーソナルコンピュータ5とから構成されている。

【0021】記憶装置1は、情報記憶部11を含む。パーソナルコンピュータ5は、情報複写手段51と、個別部検索手段52と、個別部設定手段52と、記憶装置6とを含む。

【0022】フロッピーディスクもしくはCD-ROM等の記憶媒体3は、パーソナルコンピュータ管理テーブル31を記憶保持する。

【0023】記憶装置6は、情報記憶部61を含み、情報記憶部61は個別情報記憶部62と個別情報管理テーブル63を含む。

【0024】これらの手段はそれぞれ概略次のように動作する。

【0025】記憶装置1の情報記憶部11には、パーソナルコンピュータを動作させるためのオペレーティングシステムや、業務に必要なアプリケーションプログラムを記憶している。

【0026】図2は、表計算ソフトウェア等で作成したパーソナルコンピュータ管理テーブル31の内容を示す一例である。パーソナルコンピュータ管理テーブル31には、各コンピュータごとの個別情報が一エントリ(レコード)毎に登録されており、各レコードは、LAN上のIP(Internet Protocol)アドレス、ホスト名、ログイン時のアカウント、パスワード情報等の各項目を含む。このうち、ホスト名は、パーソナルコンピュータ管

10

20

30

40

50

理テーブル31から個別情報を検索する際のキーとして利用される。

【0027】図3は、記憶装置61の個別情報管理テーブル63の内容を示す一例を示す図である。パーソナルコンピュータ管理テーブル31のエントリ(レコード)に含まれる項目ごとに、個別情報記憶部62に書き込む場合の位置情報や、桁数、文字タイプ等の属性情報を記憶している。

【0028】情報複写手段51は、記憶装置1の情報記憶部11の情報を入力し、その内容を記憶装置6の情報記憶部61に複写する。

【0029】個別部検索手段52は、キーボード等の入力装置2から与えられたホスト名を基に、記憶媒体3に記憶されているパーソナルコンピュータ管理テーブル31を検索する。ホスト名が一致したレコードが見つかった場合、該エントリの内容を読み込む。一方、パーソナルコンピュータ管理テーブル31を検索した結果、一致したホスト名が見つからなかった場合は、ディスプレイなどの出力装置4に検索不能のメッセージを表示する。

【0030】個別部設定手段53では、個別部検索手段52がパーソナルコンピュータ管理テーブル31から読み込んだレコードを各項目ごとに分解し、項目の内容を、どこに設定するかを個別情報管理テーブル63より取得し、個別情報記憶部62に書き込む。

【0031】図4は、本発明の第1の実施例の処理フローを示す流れ図である。次に、図1及び図4を参照して、本発明の第1の実施例の動作について詳細に説明する。

【0032】まず、記憶装置1内の情報記憶部11の内容を全て、そのままパーソナルコンピュータ5の記憶装置6内の情報記憶部61に複写する(ステップA1)。

【0033】次に、入力装置2より入力された文字列(ホスト名)を個別部検索手段52に供給する(ステップA2)。

【0034】この文字列と同じホスト名がパーソナルコンピュータ管理テーブル31に登録されているか否か検索する(ステップA3)。

【0035】パーソナルコンピュータ管理テーブル31に入力された文字列と同じホスト名が登録されている場合は、パーソナルコンピュータ管理テーブル31より、そのホスト名が含まれている1個のレコード(エントリ)を得る(ステップA4)。

【0036】そしてレコード内の項目をすべて処理するまで(ステップA5)、個別部設定手段53の処理を行う。すなわち、レコード内の項目を1つ取り出し(ステップA6)、該項目を、個別情報記憶部62のどこに設定するかという情報を、個別情報管理テーブル63より取得し(ステップA7)、個別情報管理テーブル63より得た情報に従って個別情報記憶部62に書き込む(ステップA8)。

【0037】パーソナルコンピュータ管理テーブル31を検索した結果、入力された文字列と同じホスト名が存在しない場合は、個別部検索手段52は検索不能と判断し、検索不能を示すメッセージを出力装置4に表示する(ステップA9)。

【0038】次に、本発明の第1の実施例について具体例を用いて詳細に説明する。

【0039】図2に示すように、パーソナルコンピュータ管理テーブル31には、「PC0101」から「PC0110」というホスト名の情報が登録されている。また、図3に示すように、個別情報管理テーブル63には、ホスト名やIPアドレス等を、個別情報記憶部62に書き込む際に必要な情報が記憶されている。

【0040】まず、記憶装置1の情報記憶部11の内容を全て、そのままパーソナルコンピュータの記憶装置6内の情報記憶部61に複写する(図4のステップA1)。例えば、媒体間の複写コマンド(「DISKCOPY」等)で行われる。

【0041】次に、入力装置2より「PC0102」という文字列が入力されたものとする。この文字列を個別部検索手段52に供給する(ステップA2)。

【0042】入力された文字列と同じホスト名がパーソナルコンピュータ管理テーブル31にあるかどうかを調べる(ステップA3)。

【0043】パーソナルコンピュータ管理テーブル31には、入力された文字列と同じホスト名「PC0102」が登録されているため、パーソナルコンピュータ管理テーブル31より、当該ホスト名が含まれている1個のレコードを得る(ステップA4)。そしてレコード内の項目をすべて処理するまで(ステップA5)個別部設定手段53の処理を行う。すなわち、レコード内の項目を1つ取り出し(ステップA6)、該項目を個別情報記憶部62のどこに設定するかという情報を、個別情報管理テーブル63より取得し(ステップA7)、該項目を個別情報管理テーブル63より得た情報に従って個別情報記憶部62に書き込む(ステップA8)。

【0044】一例として「PC0102」のIPアドレスは「172.16.01.02」であるため、これを個別情報記憶部62の中の、個別情報管理テーブル63が示す位置(10, 20)に書き込む。同様に、アカウントやパスワードも設定する。

【0045】なお、上記した本発明の第1の実施例において、記憶装置1は、パーソナルコンピュータとLAN等でネットワーク接続されるサーバ装置側に備えてもよく、また記憶媒体3もサーバ装置側に備え、パーソナルコンピュータ管理テーブルの内容(コンテンツ)又はその一部の個別情報をパーソナルコンピュータにネットワークを介して送信する構成としてもよい。

【0046】次に、本発明の第2の実施例について説明する。図5は、本発明の第2の実施例の構成を示す図で

ある。

【0047】図5を参照すると、本発明の第2の実施例は、図1を参照して説明した前記実施例と比べて、キーボード等の入力装置2と、ディスプレイ等の出力装置4が省かれており、図1の個別部検索手段52が個別部取得手段54と置換されている点で異なる。

【0048】本発明の第2の実施例においては、図7に示したように、パーソナルコンピュータ管理テーブル31'には、一レコードあたり、図2を参照して説明した前記実施例で説明したパーソナルコンピュータ管理テーブル31の個別情報に加えて実施済みフラグを有している。

【0049】個別部取得手段54は、記憶媒体3に含まれるパーソナルコンピュータ管理テーブル31'を参照し、実施済みフラグがオフであるレコードを取得し、実施済みフラグをオンにして、レコードを個別部設定手段53へ供給する。

【0050】図6は、本発明の第2の実施例の処理フローを説明するためのフローチャートである。図5及び図6を参照して、本発明の第2の実施例の動作について説明する。

【0051】まず、記憶装置1にある情報記憶部11の内容をすべて、そのままパーソナルコンピュータの記憶装置6内の情報記憶部61に複写する(ステップA11)。

【0052】個別部取得手段54では、パーソナルコンピュータ管理テーブル31'について、各レコードのうち実施済みフラグがオフであるか否かを判断し、最後のホスト名まで処理したかどうかを調べる(ステップA12)。

【0053】実施済みフラグがオフである未処理のホストがパーソナルコンピュータ管理テーブル31'に残っている場合、パーソナルコンピュータ管理テーブル31'より1個のレコードを得る(ステップA13)。

【0054】該レコードの実施済みフラグをオンにする(ステップA14)。

【0055】そしてレコード内の項目をすべて処理するまで(ステップA15)、レコード内の項目を1つ取り出し(ステップA16)、該項目を、個別情報記憶部62のどこに設定するかという情報を、個別情報管理テーブル63より取得し(ステップA17)、個別情報管理テーブル63より得た情報に従って個別情報記憶部62に書き込む(ステップA18)。

【0056】レコードの項目を最後まで処理した場合、再び、ステップA12で、パーソナルコンピュータ管理テーブル31'で最後のホスト名まで処理したか否かを判断し、最後のホスト名まで処理した場合、終了する。

【0057】図1で示した前記第1の実施例では、入力装置2から、設定対象のコンピュータのホスト名を入力し、これを記憶媒体3に含まれるパーソナルコンピュー

タ管理テーブル31より検索し、存在した場合には、個別部設定手段53を実行し、存在しない場合には処理不能とし、エラーメッセージを出力していた。

【0058】本発明の第2の実施例では、パーソナルコンピュータ管理テーブル31'を検索して実施済みフラグがオフであるか判断し(A2)、オフである最初のレコードを採取し(ステップA3)、実施済みフラグをオンにする(ステップ4)。採取したレコードを個別部設定手段53に供給する。

【0059】次に、本発明の第2の実施例の動作について具体例を用いて説明する。

【0060】パーソナルコンピュータ管理テーブル31'の内容は、図7に示すようなものとする。個別部取得手段54は、パーソナルコンピュータ管理テーブル31'を参照する。最初のレコードの処理済みフラグがオンか否かを判断し、この場合オフであるので(ステップA12)、該レコードを読み出し(ステップA13)、該レコードの実施済みフラグをオンにする(ステップA14)。

【0061】本発明の第2の実施例では、コンピュータのホスト名等を入力することなく、パーソナルコンピュータ管理テーブル31'から、環境設定対象のコンピュータのホスト名を自動入力して処理する構成とされており、コンピュータのホスト名の入力を間違えることはない。

【0062】また複数のパーソナルコンピュータを設定する際に、同じ名前を二重に設定してしまったり、設定漏れ等の人為エラーの発生を回避する。

【0063】なお、この第2の実施例において、記憶装置1は、複数のパーソナルコンピュータとLAN等でネットワーク接続されるサーバ装置側に備えてもよく、また記憶媒体3もサーバ装置側に備え、パーソナルコンピュータ管理テーブルの内容(コンテンツ)又はその一部の個別情報等をパーソナルコンピュータにネットワークを介して送信する構成としてもよい。

【0064】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば下記記載の効果を奏する。

【0065】本発明の第1の効果は、パーソナルコンピュータを管理するために表計算ソフトウェア等で作成された個別情報の内容をパーソナルコンピュータの個別情報としてそのまま設定することができる、ということである。本発明によれば、人手作業で個別情報を設定する場合と比べ、人為エラーの発生を回避し、正確さを高め、個別情報の設定時間を短縮し、作業効率を向上することができる。

【0066】その理由は、本発明においては、パーソナルコンピュータを管理するために表計算ソフトウェア等で作成したファイルを入力源として、この情報を解析して自動的に個別情報を目的のパーソナルコンピュータに

10

20

30

40

50

設定するためである。

【0067】本発明の第2の効果は、複数のパーソナルコンピュータに対して同一のソフトウェアを複写した後、個別情報を設定する処理を自動化することができる、ということである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例の構成を示す図である。

【図2】本発明の第1の実施例におけるパーソナルコンピュータ管理テーブルの内容の一例を示す図である。

【図3】本発明の第1の実施例における個別情報管理テーブルの内容の一例を示す図である。

【図4】本発明の第1の実施例の処理を説明するための流れ図である。

【図5】本発明の第2の実施例の構成を示す図である。

【図6】本発明の第2の実施例の処理を説明するための流れ図である。

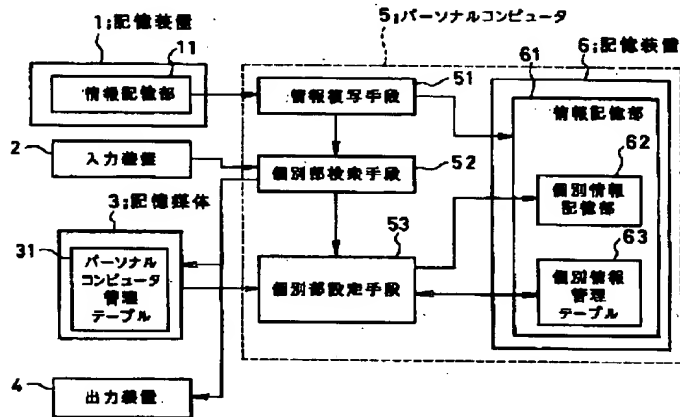
【図7】本発明の第2の実施例におけるパーソナルコン

ピュータ管理テーブルの内容の一例を示す図である。

【符号の説明】

- 1 記憶装置
- 2 入力装置
- 3 記憶媒体
- 4 出力装置
- 5 パーソナルコンピュータ
- 6 記憶装置
- 11 情報記憶部
- 31、31' パーソナルコンピュータ管理テーブル
- 51 情報複写手段
- 52 個別部検索手段
- 53 個別部設定手段
- 61 情報記憶部
- 62 個別情報記憶部
- 63 個別情報管理テーブル

【図1】



【図2】

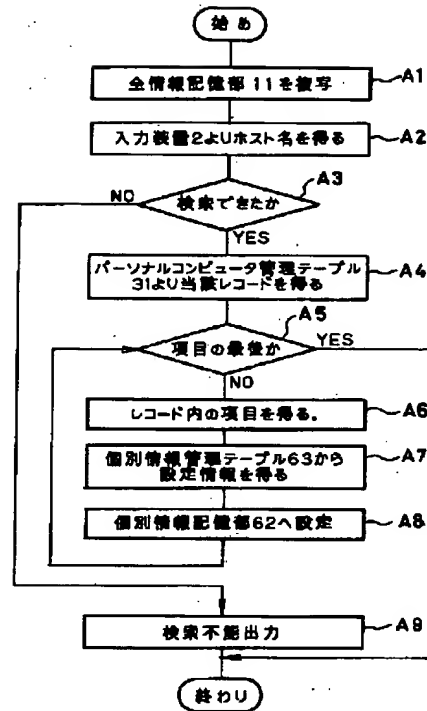
ホスト名	IPアドレス	アカウント	パスワード	
PC0101	172.16.01.01	PC0101	AAAAA	↑↑
PC0102	172.16.01.02	PC0102	BBBBBB	↑↑
PC0103	172.16.01.03	PC0103	CCCCCC	↑↑
				↑↑
PC0109	172.16.01.09	PC0109	XXXXXX	↑↑
PC0110	172.16.01.10	PC0110	YYYYYY	↑↑



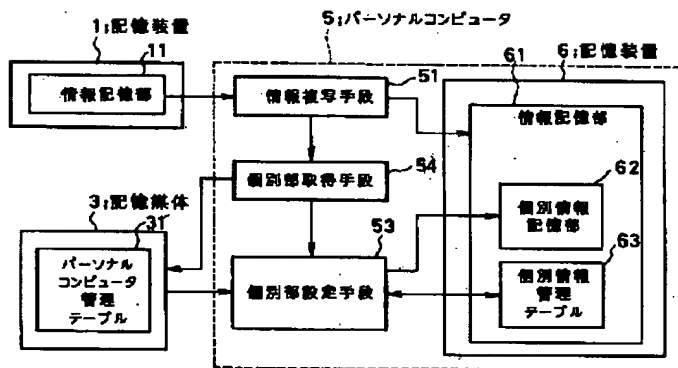
【 図3 】

ホスト名	位置	桁	文字タイプ
IPアドレス	10.20	12	9
アカウント	30.40	8	X
パスワード			

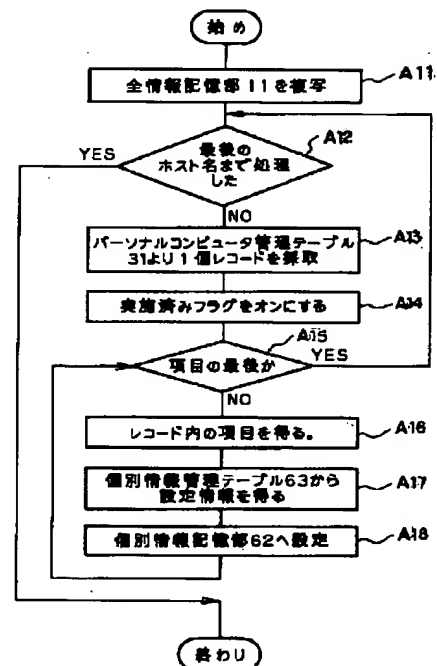
【 図4 】



【 図5 】



【 図6 】



【 図7 】

ホスト名	IPアドレス	アカウント	パスワード		実施済み フラグ
PC0101	172.16.01.01	PC0101	AAAAA		オフ
PC0102	172.16.01.02	PC0102	BBBBBB		オフ
PC0103	172.16.01.03	PC0103	CCCCC		オフ
PC0109	172.16.01.09	PC0109	XXXXXX		オフ
PC0110	172.16.01.10	PC0110	YYYYYY		オフ

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**

---